

報道関係者各位

令和4年10月17日
観光文化部 文化振興・文化財課
課長 柳澤章司
電話 055-223-1790(内 8500)

総務部 資産活用課
課長 鈴木 孝二
電話 055-223-1342(内 2250)

ふるさと納税の返礼として県立美術館特別展 「米倉壽仁展」オープニングセレモニーへご招待します

寄附受付期間：R4. 10. 17~11. 4 内覧会等実施日：R4. 11. 18

山梨県では、今年度ふるさと納税推進本部においてワーキンググループを設置し、6月2日に12名の職員で活動を開始して以降、ふるさと納税の返礼品開発を進めて参りました。

この度、ワーキンググループが発案したふるさと納税の返礼品として、県立美術館の特別展「よねくら米倉ひさひと壽仁展」開催日前日のオープニングセレモニーへご招待することとしました。

このオープニングセレモニーは、招待者やメディアの方のみを対象としており、県立美術館、特別展に関心の高い方々に訴求する返礼品として、一般の方々は参加できないオープニングセレモニーへのご招待を用意し、ふるさと山梨への納税を促進するものです。

■掲載返礼品 「米倉壽仁展」内覧会&オープニングセレモニーへのご招待

返礼品の内容 ○プレスツアーへの参加

・担当学芸員による解説・案内

○オープニングセレモニーへの参加

・青柳正規館長による特別展の見どころ紹介

・展覧会図録と県立美術館オリジナルトートバッグをプレゼント

○内覧会への参加

・セレモニー招待者者のみの特別展の作品鑑賞

寄附受付期間 令和4年10月17日(月)~11月4日(金) ※さとふるサイトから受付

開催日 令和4年11月18日(金) ※特別展開催前日

寄付金額 50,000円 ※県内居住の方は返礼品を受け取ることができません

募集数 6件

■「米倉壽仁展」開催概要

会場：山梨県立美術館 特別展示室

会期：令和4年11月19日(土)~令和5年1月22日(日)

休館日：月曜日

開館時間：9:00~17:00 (入館は16:30まで)

山梨県出身の米倉壽仁は、生涯にわたってシュルレアリスムの流れをくむ様々な表現に取り組んだ画家です。前衛画家が多く集った「美術文化協会」や、戦後に米倉自身が結成したグループ「サロン・ド・ジュワン」を基盤に活動しました。約40年ぶりの個展となる本展では、県立美術館が所蔵する米倉作品を中心として、福沢一郎や北脇昇、またダリやデ・キリコといったシュルレアリスム画家たちの作品も展示し、20世紀という激動の時代の中で米倉が目指した表現を見直します。

山梨県立美術館特別展

～米倉壽仁展オープニングセレモニーご招待～



R4.10.17
ふるさと納税WG C班 YAMANASHI

特別展 「米倉壽仁展」

開催期間 2022年11月19日～2023年1月22日

米倉壽仁(1905～1994) 甲府市出身

・1988年 山梨県政功労者として表彰

・約40年ぶりの個展であり、ダリ等の海外のシチュレ
リアリズム画家たちの作品もあわせて展示



米倉壽仁 写真



米倉壽仁「ヨーロッパの危機」



米倉壽仁「早春」



米倉壽仁「モニュメント」

返礼品の内容

●概要

寄付金額:

5万円/1名 (募集 6件)

募集期間(予定):

10月17日(月)～11月4日(金)

実施日

11月18日(金)

返礼品対象者

県外居住の方

●招待者やメディアしか参加できない、オープニングセレモニーにご招待

【プレスツアー】

・担当学芸員による解説・案内

【オープニングセレモニー】

・青柳正規館長による見どころ紹介

・作品の図録や、美術館オリジナルトートバッグをプレゼント

【内覧会】

・セレモニー参加者のみの特別展の作品鑑賞



担当学芸員による解説・案内



青柳館長による見どころ紹介(縄文展)



図録・トートバッグ



- ・特別展のオープニングセレモニーを一般公開するのは初めての事例(県立博物館等)
- ・特別展に関心の高いニッチな客層をターゲットにした、返礼品限定の特別な時間を提供
- ・県立施設を活用した、県ならではの返礼品

返礼品の
ポイント